

低温科学研究所の中山佳洋助教がアメリカ地球物理学連合 Cryosphere Early Career Award を受賞

【賞の概要】

アメリカ地球物理学連合（AGU）は、地球物理学の分野で世界最大規模を誇る学会であり、世界中の研究者や学生が所属しています。その中でも、寒冷圏科学分野（Cryosphere Section）は、氷床、氷河、棚氷、海氷、雪氷、永久凍土などの研究を扱い、約 3500 名の会員を擁しています。寒冷圏科学分野は、2007 年より、寒冷圏科学の研究及び技術発展に多大な貢献をした博士号取得後 10 年以内の若手研究者を毎年 1 名表彰しています。今回、中山助教はアジア圏の研究者として、初めての受賞となりました。

Award 受賞者（ウェブサイト）：<https://www.agu.org/honors/honors-explorer>

【受賞内容】

受賞者 中山佳洋（北海道大学低温科学研究所 助教）
受賞分野 Cryosphere（寒冷圏科学）

【受賞者のコメント】

本賞に選出いただき、大変光栄に存じます。

私の研究テーマは「海と氷の相互作用」です。南極では、氷が海に流出し、海面上昇に寄与しています。主な原因は海洋にあり、特に南極海に存在する暖かい水塊が南極氷床に向かって流れ、棚氷を融解・薄化させることで、氷の海への急速な流出が引き起こされていることが明らかになってきました。私は、氷河/棚氷/海氷などがどのように海洋と相互作用し、気候変動によってどう変化しているのか、特に海洋に焦点を当てて、海を観測し、モデルと組み合わせて、海の中で何が起きているかを明らかにするための研究を実施してきました。寒冷圏分野の賞として、海洋分野を主な研究対象とする研究者が本賞を受賞するのも初めての例となります。

国内外の共同研究者の皆様、学生の皆さんをはじめ、研究を支えてくださったすべての方々には心より感謝申し上げます。私の研究は、観測データのみならず、公開されている南極域の海洋観測データや、数多くの研究者が開発した海洋モデルを利用しています。海洋観測や数値モデルの開発に携わった研究者、技術者、観測船の乗組員や運用スタッフを含む多くの方々の支えがあってこそ、研究を進めることができました。改めて深く感謝申し上げます。

今後も寒冷圏科学や気候変動研究の発展に貢献し、若手研究者を育成しながら、さらなる分野の発展に寄与できるよう邁進してまいります。

お問い合わせ先

北海道大学低温科学研究所 助教 中山佳洋（なかやまよしひろ）

T E L 011-706-5480 F A X 011-706-7364

メール Yoshihiro.Nakayama@lowtem.hokudai.ac.jp

U R L <https://sites.google.com/view/umi-nakayama-japanese>

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp